

# 土井ゆみこ 市政報告 大切な予算が市民の皆さまのお役に立ちますように。

令和4年12月・令和5年3月議会報告 令和5年度一般会計予算総額 281億1,764万1千円 (令和4年度比9,652万6千円(+0.3%)の増)が成立しました

予算編成のポイント・・・第2次長期総合計画後期計画(R5~R9)の3つの重点プロジェクト(以下予算の主なものを抜粋しています)



**ともに創る**  
産業の振興と雇用を  
創出し定住できるまち

**ともに守る**  
安全・安心な暮らしを  
守り支えるまち

**ともに育てる**  
子どもから高齢者まで  
ともに育み学びあう  
まちづくり

## 結婚新生活支援事業補助金 1,790万円

新婚世帯の新生活スタートアップ支援、新規に婚姻した世帯に対する住宅取得費用、又は賃貸費用、引っ越し費用を支援するなど。

## 紀の川橋本 SUMMERBALL 補助金 1,300万円

市民、商工業者、行政などが参加した市民参加型のまつりである「紀の川SUMMERBALL」を4年ぶりに開催するための経費。

## 防災行政無線システム再整備事業 500万円

老朽化した防災行政無線を戸別受信機に変更するため、令和5年度には実施設計を行い令和6年度には各戸に配布予定。

## がん患者支援助成金事業 43万円

がん患者医療用日精具購入費助成金28万円と小児・AYA世代がん患者等生殖補助医療費助成金15万円。

## 子ども医療扶助費 1億303万9千円

小学校就学から18歳に達する日以後の3月31日までの間の子どもの医療費についての助成を行う。

## (仮称)紀見こども園整備に関する経費 6,248万6千円

公設公営のこども園を旧柱本幼稚園に(仮称)紀見こども園として建設するため、令和5年度は新築設計及び幼稚園解体、駐車場造成工事費など令和6年度において新築、駐車協整備工事を実施し、開園予定は令和7年度。

## 公民館・郷土資料館新築工事 8億8,186万3千円

紀見地区公民館、郷土資料館、あさもよし歴史館を移転統合し旧紀見小学校跡地に新築整備する令和5年度は施設の建設工事の予算。

## (仮称)岡潔数学体験館設置事業 3,010万円

名誉市民の岡潔博士の偉業を後世に伝え、子どもたちに算数・数学の意義や楽しさを伝え興味を喚起する施設を柱本小学校内に設置する。(令和6年度開館予定)

## LINE 市政等情報発信ツール導入経費 250万8千円

LINEを活用したコミュニケーションツール導入により、市民と行政の双方向での情報交換に必要な経費。

※ 学校給食費の無償化を求める請願書 (請願者:橋本の学校給食と子どもの健康を考える会)橋本市の学校給食費(保護者負担分)を無償とすることを全会一致で採択しました。

※ 文教厚生委員会より「学校給食の無償化を実現するために国の財政支援を求める意見書」「保育士配置の最低基準の引き上げと保育予算の大幅な増額を求める意見書」の2件を国に対し提出しました。

みんなのまちは  
みんなでつくろう!!



令和5年3月議会 一般質問

### 1, 公立図書館建設について

Q 図書館がある教育文化会館や市民会館は老朽化が進んでいますが、今後の公立図書館建設についての考えは?

A 具体的な図書館の建て替え予定はありませんが、現在図書館がある教育文化会館は築47年を経過しており、令和14年には庁舎(築60年)の建設場所や規模を決める基本構想作成を予定しているため、その2年前の令和12年から図書館も含めた具体的な検討に入ります。

Q 新しい図書館はシティセールスの一つでもあり、他の自治体の図書館も参考にして、多くの市民の意見を聞く機会を作り市民の望む図書館にしていきたい。

A 市民の意見を聞かせていただき、その意見を具現化していくことは大切と考えます。

### 2, (仮称)はしもとこどもまつりについて

Q サマーボールの代わりということで検討委員会を立ち上げましたが、趣旨と目的、また毎年開催されている「まなびの日」との違いは何ですか?

A 「まなびの日」は大人が企画運営していますが、このまつりは子どもたち(中高大学生)が企画運営することに焦点を置き、子どもたちが主役のまつりとして次年度の予算に入れていきたい。



令和4年12月議会 一般質問

### 1, ひきこもり支援の委託について

Q 本市では民間の団体に補助金を交付し、ひきこもり支援を行っていますが、その補助金は人件費として使うことが出来ず、活動メンバーはすべてボランティアです。ひきこもりの問題は重要な課題であり、いつまでもボランティア活動に頼っているには限界があります。一日も早く市の委託事業として、支援を進めて頂き、また来年度は人件費として使える補助金の確保を!

A 令和6年度から民間団体への委託を目指し橋本・伊都圏域での広域実施も視野に入れ1市3町で本年7月より毎月協議を行っています。来年度補助金については民間団体と協議し決定して行きます。

### 2, 筆談ボード等の設置について

Q 聴覚や発話に不安のある方に対し多様なコミュニケーション手段の一つとして公共機関や病院、事業所などへ筆談ボードの無料配布を!

A 市の関連施設については耳マークを表示し、筆談ボードを設置します。事業所などへの無料配布予定はありませんが、筆談ボードを設置していただけるよう周知し啓発していきます。

